

鹿児島県漁海況週報

平成22年5月27日発行(5月20日～5月26日)
第2355報(旧暦:4月7日～4月13日/月齢6.1～12.1/潮汐:小潮～中潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

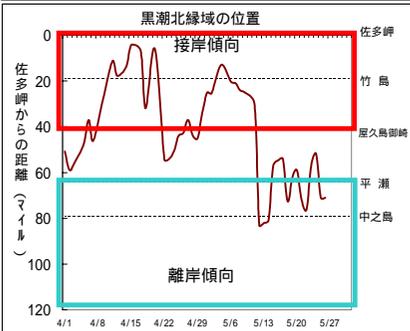
黒潮北縁域は5月26日現在、平瀬の南7マイル付近にあり、離岸傾向である。

黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は5月25日現在、51マイル付近にある。

定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、鹿児島、笠利崎、与路島、与論で0.3～1.5昇温し、その他の海域では0.2～1.0降温した。平年比較では笠利崎、与路島、与論で“やや高め”、黒潮流域で“やや低め”、屋久島御崎で“著しく低め”、その他の海域は“平年並み”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	25.4	-0.3	-0.3	やや低め
鹿児島	21.3	+0.7	+0.4	平年並み
佐多岬	21.8	-0.4	+0.1	平年並み
竹島	22.6	-0.5	-0.2	平年並み
屋久島御崎	21.1	-1.0	-2.4	著しく低め
中之島	25.0	-0.2	-0.2	平年並み
笠利崎	24.6	+0.3	+0.5	やや高め
与路島	24.4	+1.5	+0.8	やや高め
与論	24.8	+1.0	+0.7	やや高め
甕海峡	21.3	-0.2	+0.5	平年並み
甕島西	21.1	+0.1	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は5/25～26
串木野 - 甕定期客船観測は5/26
甕島西(浮魚礁)観測は5/24

【漁況】

定量網

甕島海域では、メジナ(500～600g)が100kg/日、マアジ(100～200g)が300kg/日の入網。西薩南部海域では、ヒウオ(200g)が200kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、マアジ(100～300g)が1.3～1.4トン/日、カササテ(6～10kg)が1日のみ100kgの入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でブリ(5～8kg)が40尾、カンパチ(4～5kg)が120尾、カササテ(6～8kg)が15尾、ヒウオ小が120kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で68統がソウダガツオ、カクチイワシ、マアジ小主体に81トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、マアジ、ヒラソダ主体に19.2トンの入網。種子島海域では、キハダ(3～4kg)が1日のみ20尾の入網。

トビウオロープ曳網

屋久島海域では、多い日中で比を218箱/統、中中比を5箱/統、セビを14箱/統の漁。

キビナゴ刺網

甕海域では、14～60箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、2箱/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

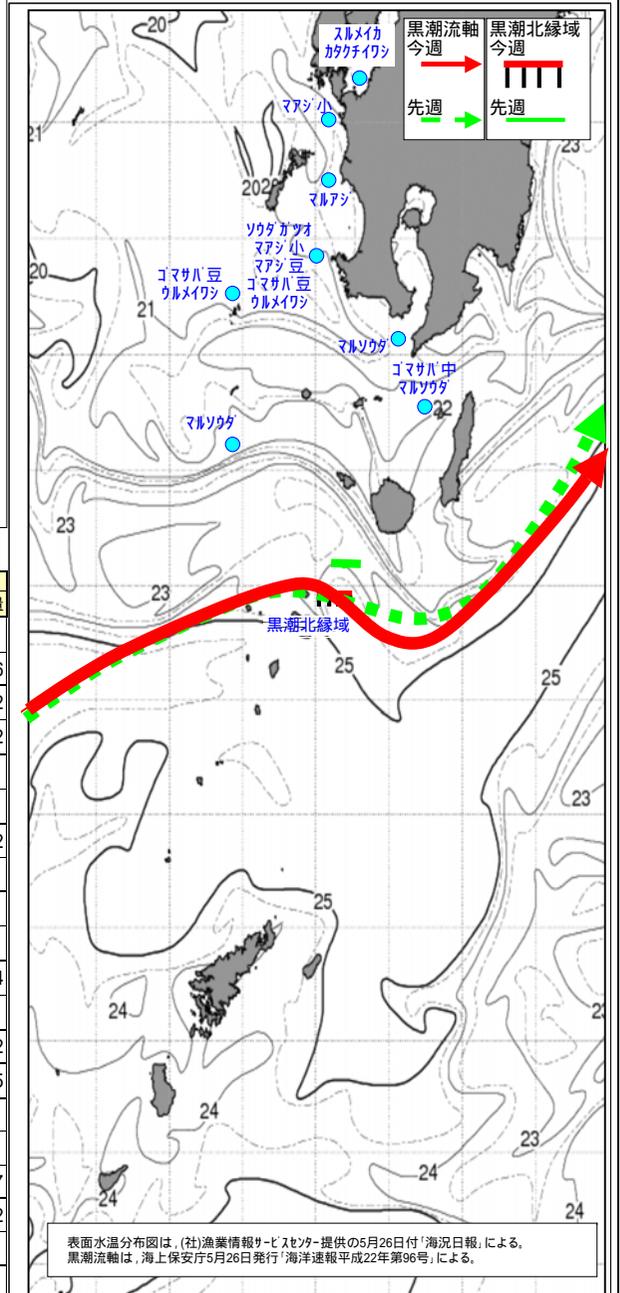
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	前年同期(第2304報)					
						1日1統	評価	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量
旋網	阿久根	大	0	-		-	2	3	0	-	
		中	13	48	野間池沖 長島 串木野沖 阿久根沖	ソウダガツオ33 マアジ小21 カクチイワシ10	3.7	22	105	3	6
	枕崎	大	3	137	宇治 野間池沖 西新曾根	ゴマサハ豆57 ウルメイワシ25 ソウダガツオ19	45.6	5	440	1	52
		中	7	79	馬毛島 立目崎沖	ゴマサハ中51 ソウダガツオ46	11.3	12	350	1	2
	内之浦	中	0	-			-	1	740	0	-
	山川	中	0	-			-	0	-	0	-
計	大	3	137			45.6	7	443	1	52	
	中	20	127			6.4	35	1,194	4	8	
東海旋網	阿久根	0	-			-	0	-	0	-	
	枕崎	1	47	モロ小53 ゴマサハ中31 プリ15		46.7	1	196	0	-	
棒受網	阿久根	28	37	阿久根沖 長島	カクチイワシ97	1.3	36	45	8	4	
	内之浦	0	-			-	0	-	0	-	
定量網	内之浦	68	81	ソウダガツオ25 カクチイワシ22 マアジ小20		1.2	61	248	62	112	
刺網	阿久根	121	35	甕	ヒナゴ100	0.3	162	43	111	25	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	-		-	0	-	0	-	
		小	0	-			-	0	-	0	-
	海旋	1	521	カツオ中70 キハダ19 カツオ小7		521.2	1	793	2	1,367	
	海外旋網	山川	中	0	-		-	1	4	3	22
	海旋	0	-			-	0	-	0	-	
	瀬戸内	小	0	-		-	-	-	-	-	

パッチ網

志布志湾海域では、フリマを製品で13トンの入札があった。

その他

西薩海域では、ごち網でメダイ(0.5～2kg)を多い船で100kg/日の漁。刺網でアカマス(200～300g)を30～90kg/隻・日の漁。延縄でイワシ(600～700g)を20kg/隻・日、ソコトヨリ(150～200g)を5～6kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でメダイ(1～2kg)を4～5尾/隻・日、メダイ(500～600g)を6～7kg/隻・日の漁。まわし刺網でキス(40～50g)を10～40kg/隻・日の漁。鹿児島湾口薩摩半島側では、一本釣でイサキ(0.6～1kg)を10尾/隻・日、ゴマサハ(0.6～1.3kg)を1日のみ多い船で50～60kgの漁。志布志湾海域では、小型底曳網でヒメ(500g)を40～50kg/隻・日、ウチワエビ(100～200g)を10～20kg/隻・日、ソコトヨリ(100～200g)を40～50kgの漁。刺網でヤマトカマス(100～200g)を150kg/隻・日の漁。種子島海域では、曳縄でキハダ(3～4kg)を多い船で5～6尾/日の漁。屋久島海域では、一本釣の2～3日操業でメダイ(3～5kg)を200～600kg/隻、ハマダイ(1～2kg)を35～40kg/隻の漁。奄美南部海域では、旗流しの日帰り操業でソデイカ(胴体のみで12kg)を1～10ハイ/隻・日、2～3日操業で同15～50ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の5月26日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁5月26日発行「海洋速報平成22年第96号」による。